

**数学を学ぶ（関数と微分積分の基礎1）演習問題**

1-1. 次の各数列の極限を求めよ (答えのみは不可)。

$$(1) \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{(2n-3)^3}{4n^3+1} \qquad (2) \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{2^n+5^n}{n-5^{n+2}}$$

1-2. 
$$\lim_{n \rightarrow \infty} \left(1 - \frac{1}{n}\right)^n = \frac{1}{e}$$

となることを示せ。但し、 $e$  はネイピアの数を表わす。

**ヒント**： $n = m + 1$  において、与えられた極限を  $m$  を使って書き換えて、逆数をとる。

2026年4月9日発行

## ■ 学習内容チェックシートについて

- A4用紙に印刷し、設問に答えてください。解答は黒の鉛筆またはシャープペンを使い、用紙に直接書き込んでください。その際、
  - 枠や下線からはみ出さないようにしなければなりません。
  - 未解答があってははいけません。
- 第2回目以降の分は授業中に（次回提出する分の）用紙を配布しますが、授業を休むなどで受け取れなかった場合には、私のホームページ (<http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~wakui/presen7.html>) 上の pdf ファイルの中から該当するものを印刷してください。
- チェックシートの右上の日付の授業時に提出します。
- じっくり考えて解答していない、丁寧に書いていないと判断されるもの、空欄があるものは、原則として未提出扱いとします。提出期限が過ぎて提出した場合にも、未提出扱いです。
- 提出された学習内容チェックシートは次回に返却します。
- 「課題をこなした」と認められるものには、確認印を押します。確認印の押されたチェックシートは、間違えた箇所（※印）があったとしても再提出する必要はありません。
- 「課題をこなした」と認められないチェックシートには、「要再提出」「再提出不許可」「未提出扱い」の印を押します。「要再提出」の印が押されていた場合には、**数学を学ぶ（関数と微分積分の基礎1）通信をよく読んで、指摘された下線（※印）の中の解答をきれいに消しゴムで消し、黒の鉛筆またはシャープペンで書き換えてください。**それをシートの提出期限の次の回の授業時に再提出してください。再提出のチャンスはその1回のみです。
- 再提出したシートに修正すべき箇所が残っている場合、完了せずに終了となります。

## ■ 欠席時の学習内容チェックシートについて

発熱等で体調が思わしくないときには、以下の要領で学習内容チェックシートの提出を認めます。但し、これは応急措置であり、欠席が長期に渡る・頻繁である場合には適用されません。

- 関大 LMS のメッセージ機能を利用して、授業当日の 12 時 30 分までに連絡してください。
- 欠席当日に提出予定だった「学習内容チェックシート」は、**スキャナーで PC に読み込んで、pdf ファイルに変換**してください。スキャナーでの読み取りが困難な場合には、文字が鮮明に読めるようにシートを写真に撮ったのち、pdf ファイルに変換してください。用紙全体が写真に収まるように、また、用紙以外のものが写り込まないようにしてください。
- ファイル名は、第1回の「学習内容チェックシート」であれば、「学籍番号\_01checkCAL1.pdf」のようにします。この pdf ファイルを、関大 LMS のメッセージ機能に添付して**授業開始時間までに送信**してください。

## ■ 次回予告

今回は実数値関数の考え方とその例を説明します。後半では、重要な関数の例として三角関数を取り上げて、その基本的性質を復習します。

数学を学ぶ(関数と微分積分の基礎1)・第1回(2026年4月9日)演習問題解答シート

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

※自分の解答を以下に書いてください。書ききれない場合には、裏面に続けてください。解答には、答えだけでなく、適宜、途中の式や考察を含めてください(答えのみは評価しません)。